



TOP NEWS

JST講座「問題解決技能」

JST講座で行っている「問題解決技能」をご紹介します。
コミュニケーション方法を重視した”JST講座”を受講した後に「問題解決技能」に移ります。

★「問題解決技能」★

日常における困りごとの解決策を見つけるため、以下のプロセスでグループワークを行います。

問題の明確化 ⇒ブレインストーミング ⇒ 解決策の決定 ⇒ 実行 ⇒ 結果の評価 ⇒ 解決

”日常での困りごとなどの解決策を見つけるまでの過程をグループワークの中で見つけていく”事を目的とし、グループワークでは以前に受講したコミュニケーションを活かせる場面があります。

プロセスは下記のようになります。

※講座での実際のプロセス※

・問題の提議

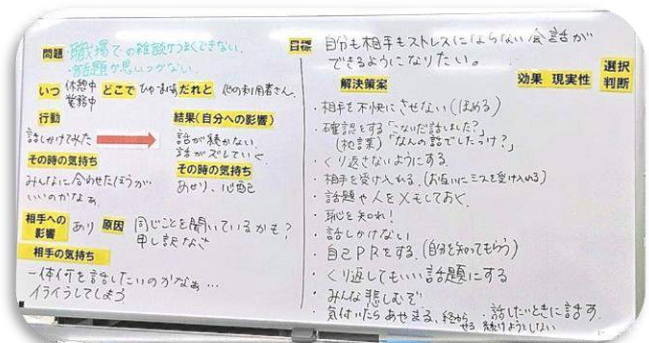
- ↓
- ・いつ・どこで・だれとの間で問題があるのか？
- ↓
- ・その時の自分の気持ち、相手の気持ち
- ↓
- ・相手への影響

の丁寧に聴き取りを行う



・解決案を参加している皆さんから募る

- ↓
- ・ご本人に提案して頂いた案に対して
現実性は？実行は？を選んでいただきます。
- ↓
- ・1週間実行して頂き、振り返りをする。



ここまでが一通りの流れになります。

〈参加いただいたご利用者様の感想〉

- ・色々な解決案が出るので参考になる
- ・以前のJSTでコミュニケーションの基礎を学んでいたもので、応用が出来た。
- 等々...

ぜひ、今後の就職活動や生活の中で活かしていただければと思います。

ひゅーまにあ浦和スタッフ一同は、利用者さんの前向きな”やる気”を応援したいと思っています。



NEWS 2

得意不得意は個性です！

ニューロダイバーシティと言う言葉を最近よく耳にします。直訳すると「神経・脳」の「多様化」となります。近年、IT企業では障害特性上コミュニケーションは苦手でも、IT業界でとても良い人材になるのでは？という考えが進んでいるようです。素晴らしい考えですね。
”得手不得手” はみんなにあり、それは個性。就労に向けた適正もそれを踏まえた方が良い、という考えです。

人により様々な得手不得手があると思います。

★自身の得手不得手(適性)を探す”目的”や推測される”利点”を書き出してみました。

- ・自身に合ったお仕事を選びやすくなる。
 - ・得意な職種であれば精神的な負担も軽減される可能性がある。
 - ・お仕事をすることに喜びを感じる機会が多くなる。
 - ・不得手でない事であれば仕事の成長スピードが速くなる可能性がある。
- etc.....

★得意な事の見つけ方の例

- ・他人から褒めて頂いた事を思い出してみる。
 - ・短所を見つけてみる。→短所の逆が長所かも？です。
 - ・信頼できる人に素直に聞いてみる。
- etc....



皆さんが得意分野に気づき、満足の行く進路に進めるよう、スタッフ一同精一杯支援させていただきます！

NEWS 3

見学にいらしてみませんか！

心身の状態は落ち着いて来たけど、いざ就職と言うと...なかなか...
”就労移行支援センター”という場所が、有るらしいが...
そんな時は”百聞は一見にしかず”と言うくらいなので、是非ご見学へいらしてみませんか？

<<今なら、定員に空きがあります。>>



まず、ひゅーまにあ浦和にお電話を下さい。
見学者様のご都合をお伺いし日程の調整を行います。



皆さまのお越しを、スタッフ一同心よりお待ちしております！

「就職相談会」「セミナー」のお問い合わせ・お申込みはこちら

 就労支援センター
ひゅーまにあ浦和

〒330-0064 埼玉県さいたま市浦和区岸町7-5-21
プリミエコート岸町3F

〈開所時間〉9:00～18:00 〈定休日〉土日祝日

TEL 048-711-7461

FAX 048-711-7462

E-mail humania_urawa@ch-j.jp

